

公園等の配置場所や市民ニーズ、管理手法などを含め施設配置の適正化を検討する。

**Q** 他の自治体において公園や児童遊園等の統廃合の例はあるか。  
**A** 借地契約解消や地元要望により廃止された児童遊園等の例は確認できたが統廃合の事例は確認できなかった。

### 確かな学力の育成について

**Q** 全国学力学習状況調査の結果において、中学3年時で全国平均を下回る状況をどのように考えているか。  
**A** 国語は全国とほぼ同じ。数学は全国をやや下回る状況である。集団の平均値結果のみをもって評価はできないが、一つの指標として考えると算数・数学がやや課題。

**Q** 三条高校に理数科設置の動きが見られるが、三条市の子どもたちに入學してもらおう場合、教育課程に特段の取り組みを求めないのか。  
**A** 特段の取り組みを行う考えはないが、科学教育センター等で理数系の興味関心を高める。県知事から設置に前向きな回答がある中、関係と連携を深め、理科科への興味関心を持つ子

### 島田川の護岸整備について

**Q** 地盤が下がってきており、護岸がいつ崩れるか不安もある。市として島田川の護岸整備の必要性をどう考えているか。また現地調査してはどうか。  
**A** 県市ともに、現状は把握している。引き続き護岸の変化など状況の把握に努めながら県に要望していきたい。



島田川の護岸

### 北潟地内火災跡地の整備について

**Q** 更地に積まれた残土のため、見通しも悪い。歩道も狭くなっている。風の強い日は埃も舞い、窓が開けられないという。跡地を整備することで利活用も可能ではないか。  
**A** 今後状態が変化するようであれば、必要に応じて所有者等に対し適正に管理してもらおうよう指導・助言していきたい。

どもが増えるよう働きかける。

### 続、空き家放置が増え続ける原因と対策

**Q** 200㎡以下の住宅を解体し空き地にすると翌年度から固定資産税が跳ね上がるが、この制度を猶予している自治体が隣市見附市である。三条市も見附市のように2年間もしくはそれ以上猶予はできないか。また、解体資金に苦慮されている方に借入れの支援はできないか。  
**A** 先行自治体の制度について研究しており、制度の導入の検討を進めている。解体目的とした融資制度の創設は、空き家に対する相談対応の中で所有者のニーズを把握して必要に応じて検討していきたい。

### 図書館等複合施設「まちやま」について

**Q** 立派な施設が出来たが、館内外にポスター等を貼る場所が少ない。また、8月29日時点で雑草が生い茂って大変見苦しい。建設工事の影響で周辺道路の傷みも激しいが、今後どう対応するのか。  
**A** 限られたスペースを有効に活用し、ちらし等カテゴリーごとにファイ



北潟地内の火災跡地

### ひきこもっておられる方および家族への支援について

**Q** 当事者の多くは長期の孤立状態に苦しみ、ひきこもりから脱することを求めていると思う。外出の機会を与えるべきと考えるが、現在市はどのような対策を講じているか。  
**A** ものづくり学校に設置した相談支援ルーム「ここから」等の相談窓口や支援の仕組みは整えられているが、相談してもらわないと支援につなげることができないため、いかにして相談につなげるかが課題と捉えている。

### 自分の命は自分で守る。災害時の情報入手について

**Q** 平成16年の7・13水害時に旧三条市が発令した避難勧告が、わずか21.9%の市民にしか伝わらなかったため、合併後屋外スピーカーを備えた

リングし、美観を損なわぬよう工夫したい。草刈りは造園業者の注文が混み合っており行わないため、現在指定管理者と職員で草刈りを行なった。工事の影響による周辺道路の補修は早急に着手して早期に完了するように努めた。

### 障がい者への就労支援について

**Q** 障がい者への就労支援についてどのような取り組みをしているのか。  
**A** 就労に必要な知識や能力を身に付けるための就労移行支援などのほか、令和4年2月に協定を締結した㈱スタートラインによる新たな雇用支援サービスを開始している。



### AEDの設置等について

**Q** どのような施設にAEDを設置しているのか。維持管理はどうか。  
**A** 小中学校、公民館、体育館などの公施設のほか、民間施設では福祉施設、ホテルなどに設置している。毎年10月頃に消防から施設所管課に適切な維持管理、点検を依頼するほか、一般の方へは救急講習会で啓発している。

### リトルベビーハンドブックの導入について

**Q** 県がリトルベビーハンドブック暫定版を発行したことを受け、三条市は導入に向けてどのように進めているのか。  
**A** 産院と連携しながら、保健師が訪問した際などに配布している。



市役所内に設置されているAED

### 男性用トイレへのサニタリーボックスの設置等について

**Q** 尿漏れパッドなどを使用する男性の約7割が外出時に捨てる場所がなくて困っているという。市内公施設の男性用トイレへのサニタリーボックスの設置状況はどうか。  
**A** 設置している公共施設はないが、市役所庁舎内のバリアフリートイレに設置していきたい。

防災行政無線や緊急告知ラジオ等を整備した。その結果、7年後の7・29水害では93.3%の市民が市の発令した避難情報入手できたが、今回改正した三条市豪雨災害対応ガイドブックの表紙にその他の5つの方法を記載した理由は何か。  
**A** 過去の水害の教訓や全国での災害対応事例などを踏まえ、市からの情報を確実に届けるため整備した。三条市公式LINEやツイッター等をQRコードと一緒に記載した。



三条市が整備をした防災行政無線と緊急告知ラジオ

### 「三条市過疎地域持続的発展計画」の達成状況等について

**Q** 計画の達成状況はどうか。  
**A** 成果指標を24項目設定し、目標に対しておおむね順調に推移している。  
**Q** 計画を変更、追加される場合はどのような対応を取るのか。  
**A** 毎年度見直しを行うこととしており、事業内容や方針などの大きな変更を行う場合は、議会にお諮りする。

**Q** 下田地区協議会で審議した結果についてはどのように公表するのか。  
**A** ホームページで会議録を公表する。

